

シンフォニー 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成16年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m ² /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリル系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75 ~ 100 m²/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系がオシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80 ~ 106 m²/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノブリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T</u> <u>(...数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650</u> <u>(...英字、 ...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A色(淡色) 約 10 m ² /缶 B色(濃色) 約 20 m ² /缶

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパット材ノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

セーフシーラー JS-800 は2kg x 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m²/セット)

A色(淡色)のJQ-650を下塗りに使用します。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<シンフォニー仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410 の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ JQ(W)-650シリーズ (A色) を無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JQ(W)-650シリーズ</u>	
塗 布 量	約2.0kg/m ² (A色 1.0kg/m ²) (B色 1.0kg/m ²)	

施工道具 金ゴテ

・ 2色の JQ(W)-650 をを定板の上で均一にならない程度に軽く混ぜ、扇状にパターン付け (図-1、2) この時、パターンがそろわないよう注意する。(図-3)

< 施工のポイント >

- ・ 2色のJQ-650を等量とり、定板の上で軽く混ぜる。

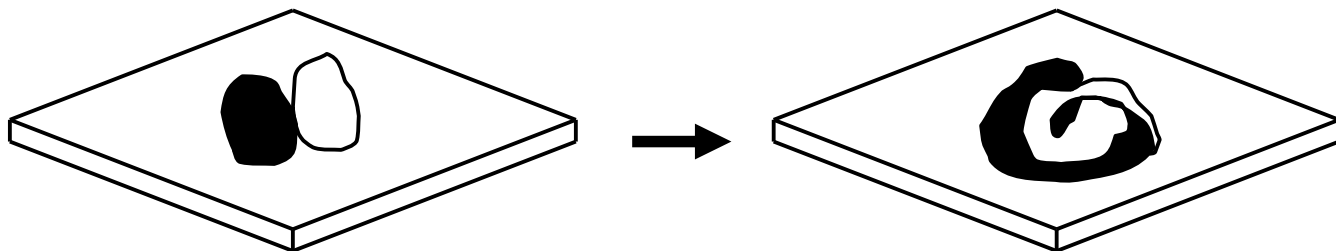


図 - 1

- ・ 壁面に対してコテを少し斜めに浮かし、塗材の表面をなでるようにコテを滑らせ、扇形にパターンを付けます。

下図の順番でパターン付けを行います。

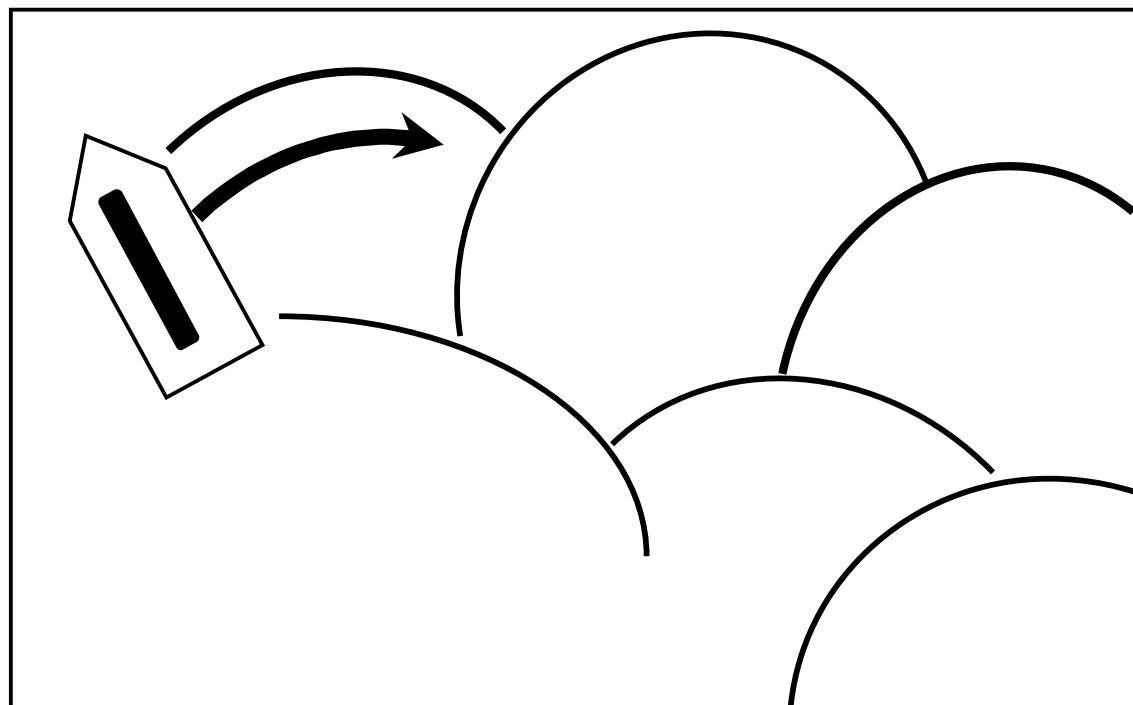


図 - 2

- ・扇状のパターンが規則正しく揃わないよう注意する。(図-3)

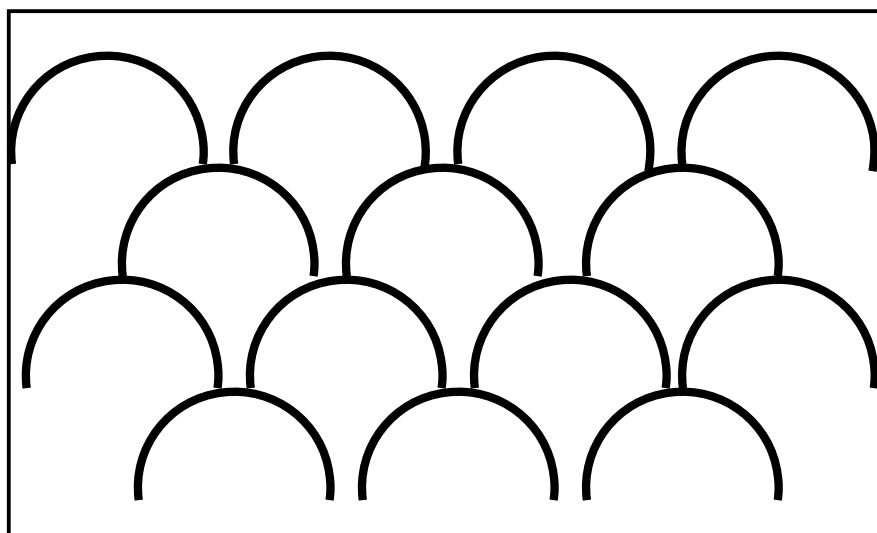
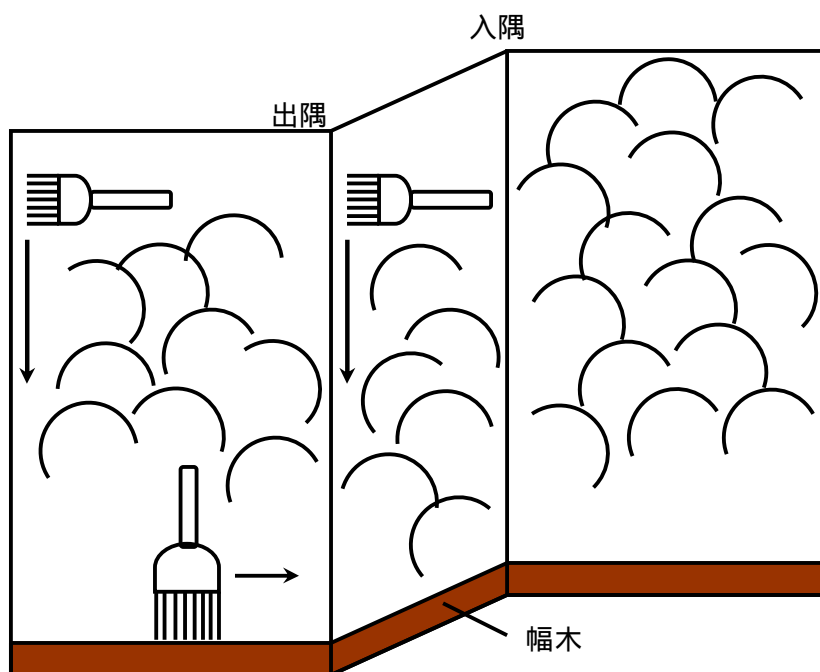


図-3

入隅、出隅の処理方法

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、JQ(W)-650が乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえる。(図-4)



刷毛で押さえる工法

図-4

JQ(W)650-80-01
(JQ(W)-650 シンフォニー)

- ・何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパットが混じり合い、色がぼけます。
- ・コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・何度もパターンの手直しをすると、JQ(W)-650が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

< 施工の注意事項 >

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・JQ-650を使用される場合、気温5以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の5以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650を推奨します。その際シーラーは凍結防止のためJS-410をご使用下さい。
しかしながら、-6以下、降雨、降雪などの条件下ではJQW-650使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上